

～日本各地で国際的活動を行う皆様に支援するメールマガジン～

グローバル通信1月号

外務省地方連携推進室



第131号 令和2年1月6日

外務省地方連携推進室
運営ホームページはこちら

グローバル外交ネット
外務省と地方が連携する

飯倉公館活用対外発信事業（奈良県）の実施



オープニングセレモニー



奈良の和牛「大和牛」の試食

地 方連携推進室では、外務大臣と地方自治体首長との共催によるレセプションを飯倉公館で開催し、駐日外交団、駐日商工会議所、企業関係者等に地方の魅力を発信しています。12月11日に、奈良県とのレセプションが開催され、奈良県の観光、食品、伝統的工芸品の魅力を紹介する様々なブースを設けるとともに、ステージでは大学生による雅楽のパフォーマンスも行われました。

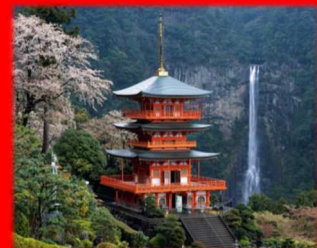
[詳細](#)

外国人から見た地方活性化Vol.5 ブラッド・トウル 氏

「聖地・熊野における地域ぐるみの新しい観光モデルへの挑戦」



熊野古道と聖ヤコブの道との二つの巡礼道を歩いた1000人目の巡礼者



神として崇拝され、日本屈指の高さを誇る那智の滝と青岸渡寺

日 999年にカナダからJETプログラムで来日し、現在は「田辺市熊野ツーリズムビューロー」でプロモーション事業部長を務めるブラッド・トウルさんに、「外国人の目から見た地方活性化」について寄稿いただきました。聖地熊野の魅力を海外向けに発信する取組や、熊野古道とスペインのサンティアゴ・デ・コンポステーラにある聖ヤコブの道という2つの巡礼道をつなぐプログラムなど13年に亘るトウルさんの地域に根ざした活動をご紹介します。

[詳細](#)

★外務省の事業

・盆栽の美（「日本ブランド発信事業」/ アダム・ジョーンズ Tree House Bonsai 代表）

[詳細](#)

★地方連携推進室から

・外交実務研修員からの寄稿（足立外交実務研修員）

[詳細](#)

黒森歌舞伎ポーランド公演 （山形県酒田市）



マンガ博物館での迫力ある立ち廻り



立ち見が出た演劇大学での公演

日 本とポーランドの国交樹立100周年にあたる2019年の11月、江戸時代中期から山形県酒田市黒森地区に伝承されてきた黒森歌舞伎のポーランド公演が行われました。黒森歌舞伎は、毎年小正月に神社の奉納行事として上演され、地域が一体となって歌舞伎を作り上げる地歌舞伎です。初めての海外公演ということで、手探りで準備をしていく中、様々な困難に直面しながらも、それを解決して公演を成功させ、多くの観客を魅了しました。

[詳細](#)

※記事は [詳細](#) をクリックするとご覧いただけます。

※次回配信は2月3日の予定です。グローバル通信に是非ご登録下さい。登録は [こちら](#) をクリック！
ご意見やご質問は、gaimu-renkei@mofa.go.jp までお願いいたします。

英仏両国でのトッププロモーション（関西広域連合）



イル・ド・フランスとの会談と覚書の締結



ユネスコ関係者との会談

関

西広域連合では、関西の認知度向上と関西への誘客促進を目的に、自治体や経済団体が連携して、トップセールスによる海外プロモーションを行っています。この10月には、英仏両国を訪問し、フランス・パリのユネスコ本部内で、関西各地域の歴史・文化についてプレゼンテーションを行ったほか、英国・大英博物館では、観光事業者やメディア、スポーツ団体などを招いて観光プロモーションを行いました。

[詳細](#)

海外日本庭園再生プロジェクト～シカゴ市での庭園修復～ （大阪市）



関係者との記念撮影



修復が完了した滝石組み

玉

土交通省が、外務省と連携して実施している「海外日本庭園再生プロジェクト」の一つとして、本年6月、米国イリノイ州シカゴ市にあるジャクソンパークの日本庭園「大阪ガーデン」が修復されました。大阪市とシカゴ市の友好の架け橋の象徴であるこの庭園が、日米の関係者の対話と協力を経て再生していく過程をお伝えします。

[詳細](#)

「モザイクの村」アシュクラフトを訪ねて （在バンクーバー総領事館）



除幕式に集まった村人



モザイクの前でスピーチする羽鳥総領事

カ

ナダの内陸の山間部にあるアシュクラフト村は、人口1500人ほどの小さな村ですが、村の各所にモザイク壁画を設置するなど、「モザイクの村」として有名です。

10月、戦時中に強制収容された日系カナダ人との和解をテーマにしたモザイク作品の除幕式があり、羽鳥在バンクーバー総領事が出席しました。モザイクを通じて、コミュニティの活性化を図る村の様子をお伝えします。

[詳細](#)

昨

年10月に創業25周年を迎え、「アンテナショップの雄」的存在感を放つ銀座熊本館。その存在感を高める大きな要素はまさしく熊本県営業部長兼あわせ部長、「くまモン」でしょう。1階の熊本県産品の豊富な品揃えの中において、随所に様々な大きさ、形の「くまモン」が愛くるしい姿を見せてくれています。くまモンが醸し出す明るい歓迎ムードにワクワクしながら、2階のグッズコーナーを訪れると、、、、もう言わずもがなですね。さあ、コンテンツ豊かな銀座熊本館へ熊本の風土と食を堪能しに参りましょう。

[詳細](#)

アンテナショップ紹介

Vol.5

「銀座熊本館」
（熊本県）

熊本



銀座熊本館外観



2階「くまもとASOBI・Bar」ほろ酔いセット